



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年2月17日朝刊東部版

①伊豆地域に生息しているニホンジカは何頭ほどいるとみられていますか。

(2万3千~3万6千)頭ほど

②ニホンジカを捕獲しなければならぬ理由を書きましょう。

(例) 食害によって農林業に大きな影響を与えるから。

赤外線カメラ搭載のドローンを使った調査をする委託業者 伊豆市



県は16日、赤外線カメラ搭載のドローンを活用したニホンジカの生息状況調査を伊豆市の棚場山周辺で行った。食害によって農林業に大きな影響を与えるニホンジカの生息場所を把握し、効率的な捕獲に役立てる。野生生物の調査を専門に行う委託業者がニホンジカの動きが活発になる夜間に備え、昼間の内に調査場所をドローンを飛ばして飛行可能な高度や障害物の有無を確かめた。夜間は昼間に記録したルートを自動で飛行し、人が簡単に入れない山間部を調査する。調査結

シカの生息状況 夜間に自動調査

県、伊豆で効率的な捕獲へ

赤外線カメラ搭載ドローン活用

③ニホンジカの生息状況を調査するためにドローンを活用する目的を、75字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。(例)

昼	間	に	記	録	し	た	ル	ー	ト	で	ド	ロ	ー	ン
を	夜	間	に	自	動	で	飛	行	さ	せ	、	人	が	入
れ	な	い	山	間	部	で	夜	間	に	動	き	が	活	発
に	な	る	ニ	ホ	ン	ジ	カ	の	動	き	を	調	査	す
る	た	め	。											

④ドローンによるニホンジカの生息状況調査はどのように使われますか。

(例) 調査結果を県が狩猟者などと共有し、わなの設置場所の判断材料にする。

果は県が狩猟者などと共有し、わなの設置場所の判断材料にする。調査は本年度、伊豆地域と小山町で試行的に初めて行った。来年3万6千頭ほどが生息していると考えられ、2020年度は1万6千頭が捕獲された。(大仁支局・小沢佑太郎)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/社会、理科、総合)